# セコムマネージドクラウドLX/LX2 DKIM署名操作マニュアル

第1.0版

2025年5月

セコムトラストシステムズ株式会社

	改版履歴				
版数	日付	内容	作成・更新者		
1.0	2025/5/30	初版作成	SDC サービス 2 部 第 2G		

第一章.	はじめに	4
1. ご利	用について	4
2. DKI	IM とは	4
3.利用	開始の流れ	4
第二章.	操作方法	5
1. 事前	準備	5
2. DKI	M キー生成手順	7
3. DNS	うへの DKIM レコード登録	9
4. DKI	M 署名有効化	11
5. DKI	M 署名の無効化	12
第三章.	DKIM キーの入れ替え	13
第四章.	DKIM キーの運用	15
第五章.	免責事項	16
第六章.	本サービスに関するお問い合わせ先	17

# 第一章、はじめに

#### 1. ご利用について

本書では、マネージドクラウドLX/LX2 (以後「LX」と呼称)においてDomain Keys Identified Mail (以後「DKIM」と呼称)署名を行うメール運用について記載しております。 ご利用には、「メールウイルスチェックサービス」のご契約が必要となります。

### 2. DKIM とは

電子メールにおける送信ドメイン認証方式のひとつです。送信元メールサーバー(LX)において、秘密鍵を 用いて電子メールに電子署名を付加してメールを送信します。その後、受信先メールサーバーでは DNS に登 録された公開鍵を用いて電子署名の検証を行い、LX から送信されたメールがなりすましや改ざんされたメー ルでないことを判定する仕組みとなります。

#### 3.利用開始の流れ

次章の手順をご参考にLXのSDCホスティング管理画面(※)にて以下の作業を実施ください。

- (1) DKIM キー生成
- (2) DNS への DKIM レコード登録
- (3) DKIM 署名の有効化

※LX をお引き渡し資料「セコムマネージドクラウドLX 設定のお知らせ」の「システム管理 URL」にログイン情報の記載がございます。

### 第二章. 操作方法

#### 1. 事前準備

DKIM キーを生成するにあたり、以下(1)、(2)を事前に決定をお願いいたします。

(1) キー長

LX 管理画面から DKIM キー(秘密鍵・公開鍵)を生成する事が可能です。

キー生成にあたり、キーの長さは1024 ビットか2048 ビットを選択いただけます。

セキュリティの観点から、2048ビットキーのご利用を推奨しております。

2048 ビット: 公開鍵を登録する DNS プロトコルに対応した最長のキー長。

稀に古い DNS システムではご利用いただけないケースがあります。

弊社 DNS サービスでは 2048 ビットのキーに対応しております。

また、署名挿入のため1024 ビットと比較し、サーバー負荷が高くなる事があります。

1024 ビット: 古い DNS システムで利用いただけるキー長。

2048 ビットと比較して脆弱な DKIM キーではありますが、2048 ビットと比較し サーバー負荷が低い特徴があります。

(2) セレクタ名

メッセージの署名に使用される特定の公開鍵を識別するために使用される文字列です。 利用可能な文字は英数字(a-z、A-Zまたは0-9)及び半角記号(ハイフン)かつ32文字以下の 任意な文字列を使用します。

(3) DKIM レコード (ホスト名)

DKIMレコードのホスト名は「ドメイン名」と「セレクタ名」で構成され、以下の書式となっています。 同一ドメイン内で同一セレクタ名のご利用は避けるようお願いいたします。

[セレクタ名].\_domainkey.[ドメイン名]

<例>

登録年月-サーバー用途.\_domainkey.ドメイン

202505-mail.\_domainkey.secomtrust.net

(4) DKIM レコード (TXT レコード)

上記(1)から(3)までを決定いただき、SDCホスティング管理画面に必要事項を入力いただく事により、 自動生成されます。

### 2. DKIM キー生成手順

SDC ホスティング管理画面にログインして操作します。

(1) Web ブラウザを起動し、お客様専用の SDC ホスティング管理画面へアクセスします。

<例>

URL : https://ksdc□□□svOO.lx.secom-cloud.jp:4443/admin/

(2) ユーザー名とパスワードを入力して SDC ホスティング管理画面へログインします。

(3) 左メニューより「DKIM 管理」を選択します。

「メールドメイン選択画面」で、DKIMキーを生成するメールドメインを選択します。

※ご利用されているメールドメインが一つの場合、本画面は表示されず(4)に遷移します。

新新される安心を、社会へ、 SECOM Trust Systems Co., Ltd. セコムトラストシステムズ和式会社					
ユーザメニュー	メールドメイン選択画面				
ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・	操作したいドメインを選択してください。				
<ul> <li>ウェブ管理</li> <li>メール管理</li> </ul>	@lx8.sdc-demo.jp @secom.co.jp @dkimtest.sdc-demo.jp				
DKIM管理 DKIM管理					
<ul> <li>データベース管理</li> <li>パフォーマンスモニタ</li> </ul>					

(4) 事前に決定したキー長、セレクタ名を入力し「DKIMキー生成」を押下します。

- ・キーのサイズ(bits): 1-(1)で決定したキーサイズ(2048 または 1024)
- ・セレクタ名: 1-(2)で決定したセレクタ名

		DKIM丰一生成(@dkim	-manual.sdc-demo.jp )			
DKIMキーの生成が行えます。						
生成したDKIMキーは、下部	「DKIMキー操作」の一覧に表	示されます。				
キーのサイズ(bits)	2048 🗸					
セレクタ名	default-manual					
DKIMギー生成						

(5) DKIM キーが作成されると、「DKIM キー操作」の欄へ表示されます。

※本管理画面で生成できる DKIM キーは1 ドメインあたり3 つまでとなります。

	DKIM丰一生成(@dkim-manual.sdc-demo.jp)					
DKIM 生成し	rKIMキーの生成が行えます。 E成したDKIMキーは、下部「DKIMキー操作」の一覧に表示されます。					
7	キーのサイズ(bits) 2048 ▼					
	セレクタ名 default					
DKIM 下記 DKI	oKIMキーを作成しました。 「記「DNSレコード確認」ボタンを押下して表示されるレコードをDNSに登録してください。 DKIMキー生成 DKIMキーは、3つまで作成が可能です。					
			DKIM‡	一操作		
生成し 有効化 DNS⁄	ゥたDKIMキーの有効化が行えます。 ;の前に必ず、DNSへレコード登録をお願いします。 ∖登録するレコードは、「DNSレコード確認」ボタンで確	認できます。				
#	DKIM‡—		作历	龙日	操作	
	defaultdomainkey.dkim-manual.sdc-demo.jp		2023年08	8月09日	有効化DNSレコード確認削除	
有効	testdomainkey.dkim-manual.sdc-demo.jp		2023年08	8月09日	無効化 DNSレコード確認 削除	
	default-manualdomainkey.dkim-manual.sdc-	demo.jp	2023年08	8月16日	有効化 DNSレコード確認 削除	

### 3. DNS への DKIM レコード登録

DKIM キーを生成後、DNSのTXT レコードへ DKIM レコードの登録が必要です。

#### (1) DNS へ登録する内容の確認方法

生成した DKIM キー一覧より、DNS へ登録したい行の[DNS レコード確認]ボタンを押下してください。画面下 部に「DNS に登録する情報」としてホスト名、TXT レコードが表示されます。

	DKIM手一操作					
生 有 DN	主成したDKIMキーの有効化が行えます。 有効化の前に必ず、DNSヘレコード登録をお願いします。 DNSへ登録するレコードは、「DNSレコード確認」ボタンで確認できます。					
#		DKIM‡—	作成日	操作		
	102401domainkey.dkimtest.sdc-demo.jp		2023年10月23日	有効化 DNSレコード確認		
			2023-10/3234	削除		
			2023年08月28日	DNSレ ド確認		
204001domainkey.dkintest.sde demo.jp			削除			
DI	DNSに登録する情報					
	ホスト名 102401domainkey					
	選択した DKIM キーの TXT レコードが表示されます					

(2) DNS へのレコード登録

3-(1)にて表示されましたホスト名、TXT レコードを DNS に登録ください。弊社 DNS サービスをご利用の場 合は、DNS 管理用 WEB サイトより登録可能です。

<例>

DKIM キーが「102401.\_domainkey.dkimtest.sdc-demo.jp」である場合、DNS ゾーン「sdc-demo.jp」の TXT レコードに登録する内容は次のとおりです。

	TXTレコード	
ホスト名	テキスト情報	TTL(秒)
		7200 🗸
	文字列のくくり「"」は、自動で補完されますので、記載は不要です。	キャッシュの有効期限を 秒で指定してください。

・ホスト名: 102401.\_domainkey.dkimtest

・テキスト情報:[3-(1)にて表示された TXT レコードを入力]

・TTL(秒): [任意の値を選択]

詳細な操作手順につきましては「DNS 管理用 WEB サイト 操作マニュアル」をご参照ください。 なお他社様の DNS サービスをご利用の場合は誠に恐れ入りますが、DNS サービス提供元へ お問合せくださいますようお願いいたします。

### 4. DKIM 署名有効化

DNS へのレコード登録が完了しましたら、DKIM 署名を有効化します。

(1) SDC ホスティング管理画面の DKIM 管理画面を開きます。

(2) DNS レコードを登録した DKIM キー行の[有効化]ボタンを押下します。

#	DKIM‡—	作成日	操作
	102401domainkey.dkimtest.sdc-demo.jp	2023年10月23日	有効化 DNSレコード確認 削除
	204801domainkey.dkimtest.sdc-demo.jp	2023年08月28日	有効化     DNSレコード確認       削除



#	DKIM‡—	作成日	操作
有効	102401domainkey.dkimtest.sdc-demo.jp	2023年10月23日	無効化 DNSレコード確認
	204801domainkey.dkimtest.sdc-demo.jp	2023年08月28日	有効化   DNSレコード確認     削除

102401.\_domainkey.dkimtest.sdc-demo.jp を有効化しました。

<注意>

#### DNSへのレコード登録が完了しておらず名前解決ができない場合は有効化できません。

	default-manualdomainkey.dkim-manual.sdc-demo.jp	2023年08月16日	有効化 DNSレコード確認 削除				
Г							

DKIMとDNSの情報が一致していないため、有効化の実施は行いません。

### 5. DKIM 署名の無効化

万が一 DKIM 署名を無効化したい場合は下記手順を実行します。

(1) SDC ホスティング管理画面の DKIM 生成画面を開きます。

#### (2) DNS レコードを登録した DKIM キーの[無効化]ボタンを押下します。

#	DKIM‡—	作成日	操作
有効	102401domainkey.dkimtest.sdc-demo.jp	2023年10月23日	無効化 DNSレコード確認
	204801domainkey.dkimtest.sdc-demo.jp	2023年08月28日	有効化   DNSレコード確認     削除

(3) DKIM キーの左側から「有効」が無くなり空欄になりましたら完了です。

#	DKIM‡—	作成日	操作		
	102401domainkey.dkimtest.sdc-demo.jp	2023年10月23日	有効化 DNSレコード確認 削除		
	204801domainkey.dkimtest.sdc-demo.jp	2023年08月28日	有効化   DNSレコード確認     削除		
10	102401domainkey.dkimtest.sdc-demo.jp を無効化しました。				

# 第三章. DKIM キーの入れ替え

既存のDKIMキーを入れ替える際の手順です。

- (1) 新 DKIM キーを生成する。
- (2) DNS にキーを登録する。
- (3) 新 DKIM キーを有効化する
- (4) 旧 DKIM キーを無効化する

(1)~(4)の操作手順につきましては、	
第二章.操作方法をご参照ください	

(5) 旧 DKIM キーを DNS から削除する。

弊社 DNS サービスをご利用のお客様は、「DNS 管理用 WEB サイト 操作マニュアル」を参照のうえ、 削除をお願いいたします。なお他社様の DNS サービスをご利用の場合は誠に恐れ入りますが、DNS サービス 提供元へお問合せくださいますようお願いいたします。

(6) 旧 DKIM キーを削除する。

①SDCホスティング管理画面から「DKIM管理」を選択します。

複数ドメインをご利用の場合は対象のドメインを選択します。

②削除する DKIM キーの「削除」を押下します。

※削除可能なDKIMキーは有効化になっていない事が条件となっております。



有効化済のDKIMキーを削除する場合、一度「無効化」ボタンを押下して、DKIMキーを無効状態にしてから 削除を行ってください。誤って「削除」ボタンを押下してしまった場合につきましては③をご参照ください。

③誤って「削除」を押下した場合、ボタンが「復元」と「完全削除」が表示されますので、対象が正しいことを 確認後「完全削除」を押下します。「復元」を押下すると削除前の状態に戻ります。

#	DKIM‡—	作成日	操作
	102401domainkey.dkimtest.sdc-demo.jp	2023年10月23日	復元 完全削除
	204801domainkey.dkimtest.sdc-demo.jp	2023年08月28日	有効化 DNSレコード確認 削除

④「完全削除」ボタンを押下した場合、画面下部に「DKIMを削除しました」と表示されましたら削除完了です。

# 第四章. DKIM キーの運用

(1) セキュリティの観点から定期的な DKIM キーの入れ替えを推奨しております。 そのため、DKIM キー生成時のセレクタ名には定期更新を考慮した命名をお願いいたします。 DKIM キー入れ替えの操作方法につきましては、第三章、DKIM キーの入れ替えをご参照ください。

※DKIMキー生成から1年経過したものが存在する場合、画面上に警告メッセージが表示されます。

		DKIM丰一操作				
生成したDKIMキーの有効化が行えます。 有効化の前に必ず、DNSへレコード登録をお願いします。 DNSへ登録するレコードは、「DNSレコード確認」ボタンで確認できます。						
#	DKIM‡—	作成日	操作			
有效	l testdomainkey.dkim-manual.sdc-demo.jp	2023年08月09日	無効化 DNSレコード確認 削除			
	default-manualdomainkey.dkim-manual.sdc-demo.jp	2023年08月16日	有効化   DNSレコード確認     削除			
	test2domainkey.dkim-manual.sdc-demo.jp	2022年09月05日	有効化   DNSレコード確認     削除			
作成日	ヨより365日経過しているDKIMキーが存在します。更新の検討をお願いします。	12				

下図は例として2023年9月6日時点の表示です

- (2) 複数のLXから同一ドメインを送信元としたメールを送る場合、各LXにてDKIMキーを生成し 有効化する必要があります。DNSでは同一セレクタ名に対して異なる複数のテキスト情報(公開鍵)を 登録することができないため、必ず異なるセレクタ名を用いてください。
- (3) 1ドメインあたり3個までDKIMキーの作成が可能です。

# 第五章. 免責事項

- (1) DKIM 署名をすることによって、メールの改ざんや差出人のなりすましを 完全に防ぐことを保証するものではございません。
- (2) お客様にて作成された DKIM キーはお客様にて管理をお願いいたします。
- (3) 本機能はメール送信時の DKIM 署名の有効化・無効化を行う手順です。 DKIM が付与されたメール受信時の判定は対象外になります。

# 第六章. 本サービスに関するお問い合わせ先

#### 本サービスに関する弊社へのお問い合わせ先は次のとおりです。

サービスデスク	メール	sdc-support@secom.co.jp
	電話	0120-756-318